

- 「瀬戸内・松山」構想に基づく観光誘客が旅行市場に定着してきた一方で、旅行形態や客層は、インバウンドや個人旅行、若い世代が中心になるなど、観光を取り巻く状況は大きく変わりました。また、地域事業者の戦略的な観光誘客も活発になっています。
- そこで、「瀬戸内・松山」構想をさらに具現化するため、「誰もが楽しめる観光地」をテーマに実行プランを取りまとめ、令和7年大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭といった好機をいかにしながら観光振興し、観光交流人口を拡大します。

短期方針

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)など、西日本で開催される好機をきっかけに、松山観光コンベンション協会と連携して、3つの柱に沿って施策を実行します。

【柱1】誰もが楽しめる観光地の推進

- ・デジタル世代、高齢者、障がい者など、誰もが楽しめる観光地になる取組で、持続可能な観光地を目指していきます。

【柱2】さらなるMICE誘致

- ・都市型観光地の特色をいかし、松山観光コンベンション協会と連携して、さらにMICE誘致に取り組みます。

【柱3】さらなるインバウンド誘客

- ・西日本への誘客のきっかけになるイベントや市外の観光地との連携で、さらにインバウンド誘客を進めます。

目標

(1) 観光客推定数	620万	人
(2) 外国人観光客推定数	32万	人
(3) 観光客推定消費額	830億	円

施策

- 団体・個人旅行商品開発・プロモーション
- 観光DXに取り組む事業者と連携
- 修学旅行誘致 ■ WEBプロモーション

- MICE主催者や参加者の満足度向上
- ユニークベニュー開発・受入体制整備
- スポーツコンベンションをいかした誘致

- 温泉ツーリズム促進や万博で観光PR
- 欧米豪・アジア圏へのプロモーション
- ナイトタイムエコノミーの推進 ■ 国際交流